

Ⅲ 教科に関する調査結果の分析

1 小学校「国語」

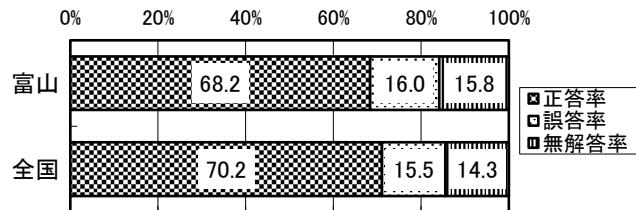
(1) 問題番号3二 <正答率が全国よりも低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 A話すこと・聞くことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- 正答率は68.2%で、全国平均よりも2.0ポイント低い。また、無解答率が15.8%で、全問中最も高い。
- 誤答については、寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことを書いていない解答が8.3%（全国8.3%）で、【インタビューの様子】の言葉や文を書き写している解答も含まれる。



3 谷さんの学年では、学校ボランティアの人たちを全校にしようかというために、自分の相手を決めてインタビューをしました。次は、【谷さんの考え】と【インタビューの様子】です。これらをよく読んで、おののけに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだろうか。私の通学路に立ってくださっている寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

【インタビューの様子】

谷さん：こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願ひします。

お二人は、毎朝七時半から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん：確かに早いです。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っています。

山本さん：最近この地域に怪盗団が出没し、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今は慣れてきました。

谷さん：そうですね。元気をもらっているということについて、もう少し詳しく教えてください。

山本さん：子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出かけた保護者の方が「いつもありがとうございます」と言ってくれたこともあり、やりがいを感じています。

谷さん：ありがとうございます。お二人は、ボランティアをやっている以外のことについて教えてください。

山本さん：はい、そのとおりです。ボランティアをやった本意によったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいの方が大きいです。

寺田さん：なるほど、そうですね。

谷さん：私も子供たちが安全に登下校している様子を見ることができ、やりがいを感じます。子供たちの笑顔を見るときには、さらにうれしい気持ちになります。ボランティアを始めてよかったと思います。

谷さん：一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿など、とてもうれしい気持ちになります。

寺田さん：そうですね。私もそうです。

谷さん：はじめは、見守りボランティアの仕事を大変な仕事だと思っていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

二 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
- 「インタビューの様子」の寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出した言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にとめて書くこと。なお、書き出した言葉は、字数にはふくまない。

※左の原簿用紙は書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、原簿用紙に書きましょう。※左の原簿用紙は書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、原簿用紙に書きましょう。

はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと思っていましたが、

正答例 お二人とも、大変さよりも子どもたちの安全を守るやりがいの方が大きいら、ボランティアを続けていることが分かりました。(五十八字)

学習指導上の留意点

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようにする

話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。

指導のポイント

- インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることなどを整理したり、答えを予想したりしておくなど、相手が自分に伝えたいことや自分が求めている情報等を明確にして聞くことができるようにする。
- インタビューの進め方を友達と確認し合いながら吟味していく場を設定する。
- インタビューの際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていくことができるように指導する。

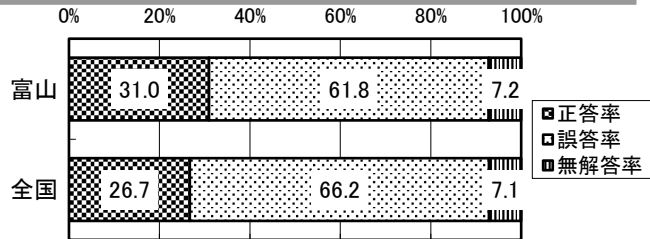
(2) 問題番号 1 二 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 B書くことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は31.0%で、全国平均よりも4.3ポイント高いが、全問題中、最も低い。
- ・無解答率は7.2%（全国7.1%）。
- ・誤答については、グラフとカードのいずれかの情報しか取り上げていない解答が37.0%（全国37.4%）で、複数の情報を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。



正答例

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしまうかのように感じました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(200字)

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、川村さんの考えと川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

二 【カード①】

6月24日
思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
調査きかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日
学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
雑草が多いと、いねが病気になることがある。
農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
雑草取りの回数を増やす。
雑草取りの人数を増やす。

（条件）

○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード①」～「カード⑤」のそれぞれから分かることを書くこと。

○ 問題点の解決方法については、「カード①」～「カード⑤」をもとにして書くこと。

○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いよいよ雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼと比べてみました。うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量 (kg)

日	農家の田んぼの雑草の量 (kg)	学校の田んぼの雑草の量 (kg)
7月1日	2	1
7月8日	3	2
7月15日	4	3

10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

学習指導上の留意点

- 図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする

伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフ等を用いるとよいかを児童が考えられるようにすることが大切である。

指導のポイント

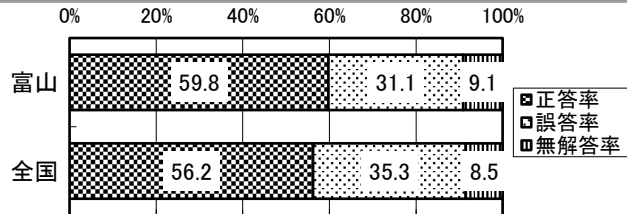
- ・児童の学習の状況に応じて、教師が、図表やグラフ等を用いたモデルとなる文章を提示する。その際、複数の文章を比べることで、図表やグラフ等を用いることのよさを実感できるようにする。
- ・推敲の際には、図表やグラフ等の用い方は適切か、図表やグラフを用いることで書く必要がなくなった文章はないか、あるいは、文章で説明を加えた方が分かりやすい部分はないか、といった観点を示す。
- ・それぞれの図表やグラフの特徴や優れている点等について、他教科等と関連して指導するように工夫する。

(3) 問題番号 2 四 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 C読むことオ
 評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・正答率は 59.8%で、全国平均よりも 3.6 ポイント高いが、全問題中 2 番目に低い。
- ・無解答率は 9.1% (全国 8.5%)。
- ・誤答については、資料から分かったことが、運動と食事のいずれかしか書いていないものが 19.5% (全国 22.3%) で、複数の資料を比較したり関連付けたりすることができていなかったと考えられる。



【資料 2】運動について書かれたパンフレットのページ

四 運動で健康な体をつくらう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちもリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のようになり、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、庭仕事などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のゆわらかさを高める運動や、たくさん動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、次の散歩、階段の上り下り、掃除などです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例

 軽いジョギング 自転車(漕ぎながら)

主に筋力を高める運動の例

 腹筋運動 片立て

【資料 3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をするこにより、腸が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べたりしていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいららなくなったりします。

食品は、栄養素の働きによって、下のようになり、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの源になります。肉や魚などは、主に体をつくるものになります。ビタミンやミネラルは、体が元気に働いたり、疲れがとれたりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気をかかりにくくなります。

(栄養素の主な働きと食品の例)

主にエネルギーの源になる

 米、パン、バターなど

主に体をつくるものになる

 肉、魚、卵など

主に体の調子を整えるものになる

 野菜、果物など

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすること健康にどんないいことがあるのか。

【資料 1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供から若年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日々行っている運動には、いくつもの種類があります。例えば、体にたくさんの筋力を取り入れながら続けるこで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すこで筋肉の力を高める運動などです。生活の中に自分好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じて運動を選ぶこにも、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うこが大切です。

2 相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめるこにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいこを調べるために選んだ「資料 1」、「資料 2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

学習指導上の留意点

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既知の知識等と結び付けて自分の考えを形成することが重要である。

- 指導のポイント
- ・読む目的を意識することを促し、文章を読んで理解したこの中に、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付くこはないかを考えながら読むようにする。
 - ・複数の本や資料を読んで分かったこを整理したり、分かったこの中から既知の知識や体験等に結び付くものを考えたりしながら自分の考えをまとめる活動を設定する。
 - ・複数の資料を比較したり関連付けたりして考えた方が、文章をよく理解したり、自分の考えを広げたりすることにつながるこを実感できるようにする。

2 小学校「算数」

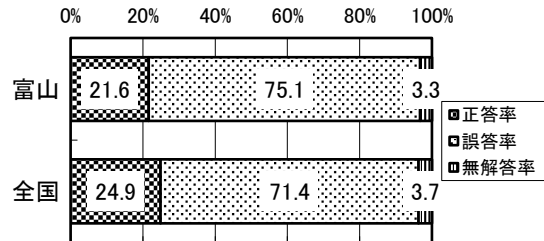
(1) 問題番号 2(3) <正答率が低く、その正答率が全国よりも低い問題>

学習指導要領における領域・内容：3 学年 B 図形(1)ア(ア) 5 学年 B 図形(1)ア(イ)

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

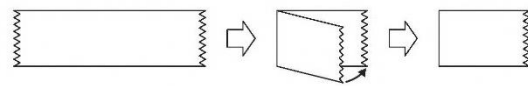
- 正答率は 21.6% で、全問題中最も低く、全国平均よりも 3.3 ポイント低い。
- 誤答については、テープを切って開く前の角であることに着目できておらず、「 60° 」と誤って記述している児童が、35.8% (全国 33.3%) である。また、正三角形をつくることに着目できておらず、「 40° 」と記述している児童が、14.4% (全国 13.6%) である。



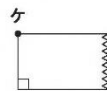
2 (3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

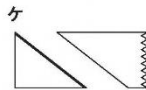
① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



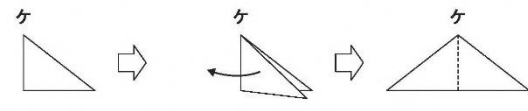
② 右の図のように、折り目ははしを点ケとします。



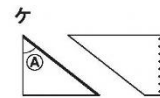
③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



④ 開くと三角形ができました。

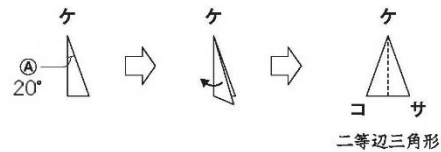


ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな

わたしは、④の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたる

私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にするればよいですか。

答えを書きましょう。

正答
30

学習指導上の留意点

○ 目的の図形をつくるための操作の見通しを立てることができるようにする

目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることができるようにすることが重要である。

指導のポイント

- 実際に正三角形や頂角の大きさが 120° の二等辺三角形をつくる活動等を取り入れる。その際、上の図のようにテープを折って④の角の大きさを 20° 等にして切ってきた直角三角形を切り開くと、頂角の大きさがそれぞれ何度になるのかを考えることができるようにする。
- 角の大きさを予想した上で、テープを切って開いてできた二等辺三角形の頂角の大きさは、④の角の大きさの 2 倍になるのではないかとことに気付き、正三角形をつくるためには、頂角の大きさを 60° の半分の 30° にすればよいという見通しを立てることができるようにする。

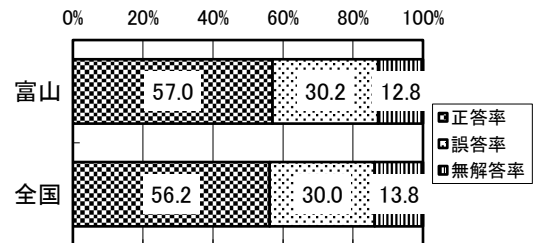
(2) 問題番号4(3) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：3学年 Dデータの活用(1)ア(イ)イ(ア)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

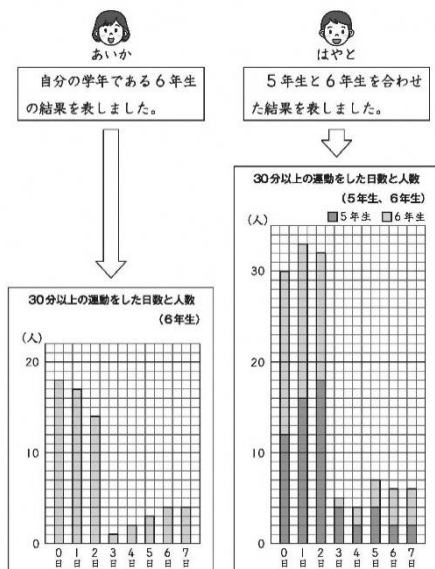
【出題の趣旨】 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

- 正答率は、57.0%で、全国平均より0.8ポイント高い。
- 無解答率が全問題中、12.8%(全国13.8%)と最も高い。また、複数のグラフを比べるところを、5年生と6年生を合わせたグラフの「1日」にのみ着目して、5年生と6年生の合計の人数を答えるなどの誤答があった。



4

(3) あいかさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。



あいか: どちらのグラフも「0日」「1日」「2日」の人数が多いということが同じですね。

はやと: でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようちがいががあります。
6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。

下の□の中に、「6年生のグラフ」「5年生と6年生を合わせたグラフ」「番目」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようちがいががあります。

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

<正答の条件>
次の①、②の全てを書いている。

- 30分以上の運動をした日数が「1日」の人数について、6年生のグラフでは、2番目に多いことを表す言葉と数
- 30分以上の運動をした日数が「1日」の人数について、5年生と6年生を合わせたグラフでは、1番目に多いことを表す言葉と数

あいかさんたちは、左の2つのグラフをもとに、気づいたことについて話合っています。

正答例

6年生のグラフでは「1日」の人数が2番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「1日」の人数が1番目に多いです。

学習指導上の留意点

○ 複数のグラフを比べ、見いだしたことを表現できるようにする

目的に応じて分類整理された複数のグラフを比べ、見いだしたことを、他者に分かりやすく表現できるようにすることが重要である。

指導のポイント

- 一つのグラフの部分と部分や、複数のグラフを比べ、同じところや似ているところ、少し違うところや大きく違うところを見いだすことができるようにする。
- グラフから特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明らかにして、他者に分かりやすく説明できるようにする。

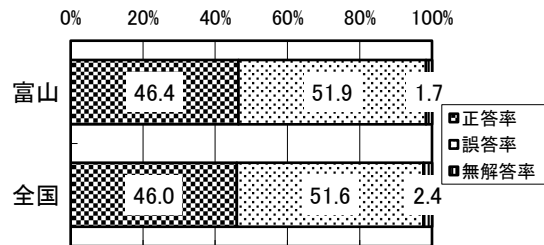
(3) 問題番号4(1) <正答率が低い問題>

学習指導要領における領域・内容：5 学年 C変化と関係(3)ア(イ)

評価の観点：知識・技能 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。

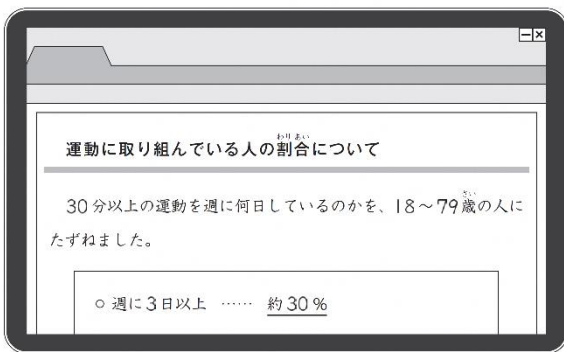
- ・正答率は46.4%であり、全国より0.4ポイント高いが、全問題中3番目に低い。
- ・誤答については、30%について10人を基準量としたとき、それに対する比較量を捉えることはできているが、100人を基準量としたとき、それに対する比較量を捉えることはできていない児童が、17.1%（全国17.2%）である。



4(1)

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみん
が必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について
調べると、下のような記事を見つけました。

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のア から オ
までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は
約30%なのですね。

正答
ウ、エ

学習指導上の留意点

○ 百分率で表された割合について理解できるようにする

日常生活の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量の関係に基づいて理解できるようにすることが重要である。

指導のポイント

- ・百分率を求めるためには、問題場面から基準量と比較量を正しく捉え、(比較量)÷(基準量)で割合を求めることができるようにすること、及び基準量を100として、それに対する割合で表す方法が百分率であることを理解できるようにする。
- ・例えば、100%が1(倍)と等しく、50%が0.5(倍)、1%が0.01(倍)と等しいことなどを数直線上で確認する活動を取り入れ、百分率(%)と割合を表す小数の関係を捉えられるようにするなど、基準量と比較量の関係を図や数直線等に表す活動を取り入れる。
- ・割合に関連する内容は、「A数と計算」の領域等にも含まれている。第2学年以降の倍の意味の学習、整数倍の学習や小数倍の学習において、基にする量の何倍というような考えができるようにして、基準量を意識できるようにする。

3 中学校「国語」

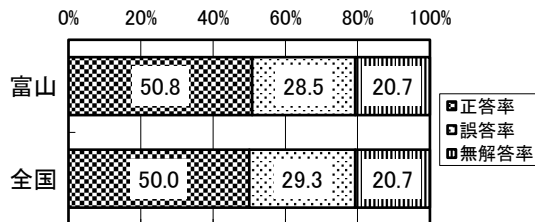
(1) 問題番号4三 <正答率が低く、無答率が高い問題>

学習指導要領の内容：1学年 C読むことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は50.8%で、全国平均よりも0.8ポイント高いが、全問題中で2番目に低い。
- ・無解答率は20.7%(全国20.7%)で、全問題中最高のも高い。
- ・誤答については、文章中の具体的な表現に着目して、その根拠を明確にすることができていない解答が16.4%(全国16.4%)である。



4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の〈原文〉とその〈現代語訳〉、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

〈原文〉

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてみたり。

〈現代語訳〉

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといつた。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

※文章の内容については、調査問題をご覧ください。

(星新一「竹取物語」による。)

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

正答例

「よろづのこと」を「笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

学習指導上の留意点

- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようにする
古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、原文と現代語の文章を対応させて、叙述に基づき、文章の構成や展開、表現の効果を考えることが重要である。

指導のポイント

- ・古典の現代語訳や古典について解説した文章等を教材として取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果等に注目して工夫されているところを考える活動を取り入れることで、「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解できるようにする。
- ・古典の原文と比較したり関係付けたりすることで、古典の原文やその作品の世界に、生徒の興味・関心が向かうようにする。
- ・叙述に基づき、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を明確にして、構成や展開、表現の効果について自分の考えを書いたり、発表したりする活動を取り入れる。

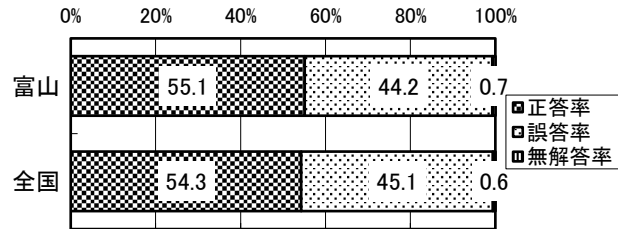
(2) 問題番号 3 — <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：1 学年 B 書くこと E

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 読み手の立場に立って、叙述の仕方等確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は 55.1% で、全国平均よりも 0.8 ポイント高いが、全問題中 3 番目に低い。
- ・誤答については、「もち」を「もったため」と直すことで、「ため」の前後の関係が「原因と結果」の関係になることを十分に理解しておらず、推敲の意図を捉えることができなかったと考えられる。



4 3 2 1

「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

「判じ絵」を調べることになった理由を明確にしようとした。

「判じ絵」について

山田 光一


1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。


3. 調査結果

■ 「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。(ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解読するには、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし置って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■ 「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図1】ザル



【図2】スズメ

【図3】は、

3

山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

正答例

4

学習指導上の留意点

- 読み手の立場に立ち、叙述の仕方等確かめて文や文章を整えることができるようにする
書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように読み手の立場に立ち、表記や語句の用法、叙述の仕方等確かめて、文章を整えることができるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ・指示する語句や接続する語句を適切に用いて、原因と結果、意見と根拠等、情報との関係が分かりやすく示されているかなど、学習した知識を観点として示すようにする。
- ・推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する学習を通して、伝えようとするものが十分に書き表されているかなどを読み手の立場に立って確かめることができるようにする。

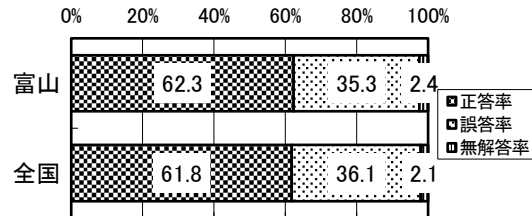
(3) 問題番号 3三 <正答率が低い問題>

学習指導要領の内容：2 学年 (2)情報の扱い方に関する事項ア

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

- 正答率は 62.3% で、全国平均よりも 0.5 ポイント高いが、全問題中 4 番目に低い。
- 誤答については、文章後半の内容に共通する要素を抽出し、見出しを考えて書くことができている解答が 10.4% (全国 11.4%) である。




三 山田さんは、「■「判じ絵」とは何か」と見出しを付けた文章のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア) から (オ) までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

「判じ絵」について

山田 光一

- はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。
- 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。
- 調査結果
 - 「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。
(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。
 - 「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。
【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。



【図2】スズメ

【図3】は、

【図3】

正答例
(分ける箇所) ウ
(見出し) 「判じ絵」の歴史
「判じ絵」の起源と広がり

学習指導上の留意点

- 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解し、使うことができるようにする
具体と抽象の関係を理解するためには、それぞれの言葉の意味を捉えた上で、具体と抽象が状況や必要に応じて使い分けられていることを理解できるようにすることが大切である。

指導のポイント

- 具体は例示の際等、抽象は共通する要素をまとめる際等に使われていることを身の回りの事例と結び付けながら捉えることができるような学習場面を設定する。
- 自分が考えたことを伝える文章を書く際に、段落相互の関係を具体と抽象の関係という観点で見直し、文章の構成や展開を検討する場面を設定する。
- 内容で分けた文章のまとまりに小見出しを付ける学習活動を取り入れる。

4 中学校「数学」

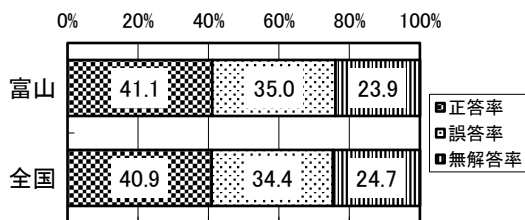
(1) 問題番号⑥(3) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：2 学年 A 数と式(1)イ(イ)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

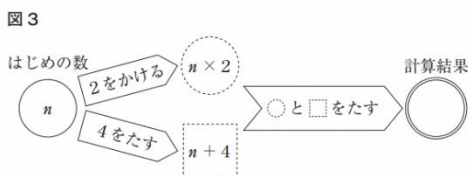
【出題の趣旨】 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。

- 正答率は 41.1% で、全国平均より 0.2 ポイント高い。
- 無解答率は 23.9% (全国 24.7%) と高い。
- 誤答については、はじめの数にかける数として 4 の倍数を記述している生徒が 8.7% (全国 8.7%) である。



⑥ (3) 夏希さんは、7 ページの図 1 の「2 をかける」のかける数「2」は変えずに、「3 をたす」のたす数「3」を 4 の倍数である「4」や「8」に変えれば、計算結果がいつでも 4 の倍数になると考えました。そして、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が 2、たす数が 4 ならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になる」と予想しました。

そこで、夏希さんは、はじめの数として入れる整数を n とし、次の図 3 をかき、下のように計算しました。



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に 2 をかけた数は $n \times 2$ 、4 をたした数は $n + 4$ と表される。計算結果は、

$$n \times 2 + (n + 4)$$

$$= 2n + n + 4$$

$$= 3n + 4$$

計算結果が $3n + 4$ となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が 2、たす数が 4 ならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。

上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になると予想できますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。

〈正答の条件〉

「○○ならば、◇◇になる。」という形で、次の(a)、(b)について記述しているもの。

- (a) ○○が、「はじめの数にかける数が 3、たす数が 4」である。
- (b) ◇◇が、「計算結果はいつでも 4 の倍数」である。

正答例

- はじめの数にかける数が 3、たす数が 4 ならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になる。
- はじめの数にかける数が 7、たす数が 8 ならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になる。
- はじめの数にかける数が 4 の倍数から 1 ひいた数、たす数が 4 の倍数ならば、計算結果はいつでも 4 の倍数になる。

学習指導上の留意点

○ 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにする

予想した事柄が成り立つかどうかを、具体的な数や文字式を用いて調べる活動を通して、結論が成り立つための前提を捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ある事柄が成り立つかどうかを文字式を基に判断したり、文字式の計算の過程や結果を事象と関連付けながら、ある事柄が成り立つための条件を見いだしたりする活動を取り入れる。
- 解決された問題やその解決の過程を振り返り、条件を変えた場合について成り立つ事柄を予想してその予想が成り立つかどうかを調べるなど、新たな問題を見だし解決する活動を取り入れる。

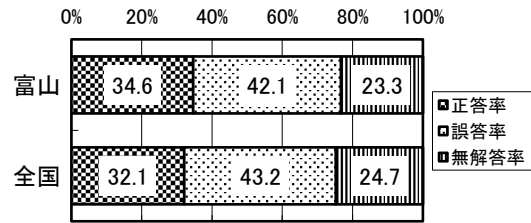
(2) 問題番号⑨(1) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：2 学年 B 図形(1)イ(ア)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 34.6% で、全国平均より 2.5 ポイント高いが、全問題中 2 番目に正答率が低い。
- ・無解答率は 23.3% (全国 24.7%) と高い。
- ・誤答については、 $BC \parallel AE$ のみ (結論のみや根拠の表現が十分でない記述を含む) 記述している生徒が 19.6% (全国 19.6%) である。



9 次の図 1 のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形 ABC と、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の 2 つの三角形を厚紙で作ります。

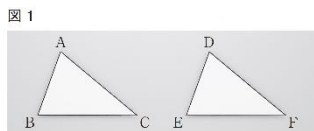
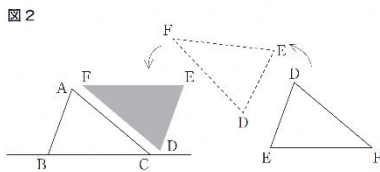


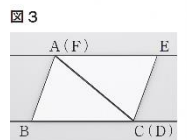
図 1 の 2 つの三角形の厚紙を使って、次の方法 1 と方法 2 でそれぞれ 2 つの直線をひきます。

方法 1

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図 2 のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 F を点 A に、点 D を点 C に重ねる。



◇ 図 3 のように、点 A と点 F が重なった点を A として、直線 AE をひく。また、点 C と点 D が重なった点を C とする。



(1) 優奈さんは、前ページの方法 1 の直線 BC と直線 AE が平行になるかどうかを調べるために、右の図 6 をかきました。図 6 の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ です。

図 6

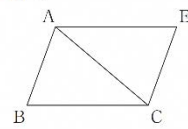


図 6 において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

〈正答の条件〉

次の (a)、(b) とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。

なお、ここで根拠として求める記述は、正答例に記載されている程度のもとする。

- (a) $\angle BCA = \angle EAC$
(b) $BC \parallel AE$

正答例

- ・ $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BCA = \angle EAC$
よって、錯角が等しいから、
 $BC \parallel AE$

学習指導上の留意点

- 観察や操作、実験等の活動を通して、図形の性質を見いだすことや、統合的・発展的に考察することができるようにする

事柄が成り立つことを証明することができるようにするためには、構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導することが大切である。

さらに、図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験等の活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることができるようにするとともに、条件を変えるなどして統合的・発展的に考察することができるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ・ 根拠となる事柄を捉え、その事柄を与えられた条件から導く過程を考えるとといった構想を立てる活動を取り入れる。
- ・ 実際に合同な図形を用いたり、図をかいたりするなどの具体的な操作を通して関係を予想する場面を設定し、予想した事柄が成り立つことを証明する活動を取り入れる。
- ・ 一旦解決された問題やその解決過程を振り返り、問題の条件を見直したり、共通する条件や図形の性質を見いだしたりすることを通して、統合的・発展的に考察する活動を取り入れる。

(3) 問題番号 **1** と **5** < 正答率が全国平均よりも低い問題 >

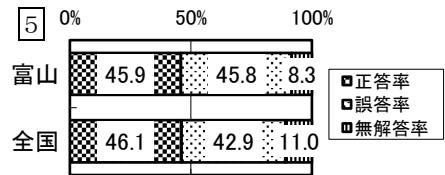
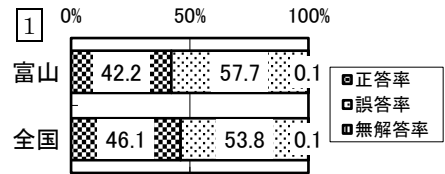
学習指導要領における領域・内容：**1** 1 学年 A 数と式(1)ア(ア)

5 1 学年 D データの活用(1)ア(ア)

評価の観点：知識・技能 問題形式：**1** 選択式 **5** 短答式

【出題の趣旨】 自然数や累積度数の意味を理解しているかどうかをみる。

- ・全問題中、全国平均より正答率が下回った問題が2問あり、いずれも知識・技能を問う設問 **1** と **5** である。
- ・**1** の正答率は 42.2% で、全国平均より 3.9 ポイント低い。**5** の正答率は 45.9% で、全国平均より 0.2 ポイント低く、無解答率も 8.3% (全国 11.0%) と高い。
- ・誤答については、**1** では 0 を自然数に含めて解答している生徒が 32.7% (全国 30.1%) と多く、**5** では累積度数を求めるところ、誤って相対度数を求めている生徒が 12.6% (全国 11.7%) である。



1 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。

- ア -5
- イ 0
- ウ 3
- エ 4.7
- オ 9

正答 ウ・オ

5 ある市の中学生の水泳大会における女子 50 m 自由形に出場した 40 人の記録を調べました。調べた結果を、次の累積度数を含めた度数分布表に整理します。

女子 50 m 自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	ア
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

女子 50 m 自由形の記録の **ア** には最小の階級から 29.00 秒以上 30.00 秒未満の階級までの累積度数が入ります。**ア** に入る値を求めなさい。

正答 9

学習指導上の留意点

○ 数学的活動を通して、知識・技能を身に付けることができるようにする

数の範囲を正の数と負の数にまで拡張して、数の集合を捉え直す場面を設定し、自然数や整数の意味を理解できるようにすることが大切である。

また、累積度数は、度数分布表やヒストグラムを用いてデータの傾向を読み取る際に必要であり、累積度数の必要性和意味について理解できるように指導することが大切である。

指導のポイント

- ・小学校算数科において、整数を 0 と正の整数を合わせたものとして捉えていたことを振り返り、中学校数学科では、負の整数に加えて、整数を正の整数(自然数)、0、負の整数と捉え直し、整数の意味について理解が深まるようにする。
- ・累積度数を用いて考察する場面を設定するとともに、不確定な事象についてデータに基づいて判断する活動を通して、目的に応じて累積度数を用いることができるようにする。

5 中学校「英語」

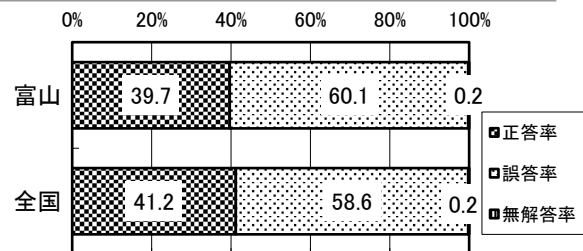
(1) 問題番号 3 <正答率が低く、その正答率が全国よりも低い問題>

学習指導要領における領域・内容：聞くことA

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 日常的な話題について、自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

- ・正答率は39.7%で、全国平均より1.5ポイント低く、聞くことの領域の問題の中で最も正答率が低い。
- ・誤答については、自分の置かれた状況を把握できていない生徒が26.2%（全国27.2%）、着目すべき語句や表現を聞き取ることができていない生徒が33.8%（全国31.4%）である。



3 (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Groups 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

正答 3

学習指導上の留意点

○ 自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取ることができるようにする

自分の置かれた状況等から判断して、必要な情報を聞き取るためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況等から何が自分にとって必要な情報かを判断した上で聞き取ることが重要である。

言語活動を行うに当たっては、自分の置かれた状況を把握できているかどうかと、何を聞き取ればよいかを理解しているかどうかを確認することが大切である。

指導のポイント

- ・関連する語句や表現に着目して、自分が必要とする情報を聞き取る活動を取り入れる。
- ・聞く活動において、何を聞かなくてはならないのかを捉えることができたなら、どのような情報が述べられているのか、どのような語句や表現が使用されているのかなどを予測する場を設ける。
- ・自分の置かれた状況等に着目して、必要な情報と必要としない情報を判断し、「必要な情報」のみを取り出すことができるようにする。

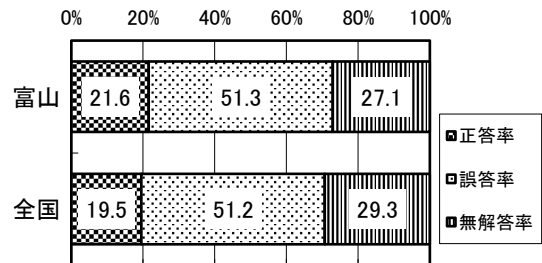
(2) 問題番号8(2) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

- ・正答率は21.6%で、全国平均より2.1ポイント高いが、全問題中3番目に正答率が低い。
- ・無解答率は27.1%（全国29.3%）と高い。
- ・誤答については、書き手の意見に対する自分の考えを書いているが、具体性に欠けていたり、自分の好みを理由としていたりするなど、その理由を書くことに課題があると考えられる生徒が28.6%（全国28.0%）である。



8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

<正答の条件>

次の条件を満たして解答している。

- ① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。
- ② ①の理由を書いている。

正答例

- ・ I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- ・ I don't agree with you because people will lose their job.

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



学習指導上の留意点

○ 読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにする

読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要である。

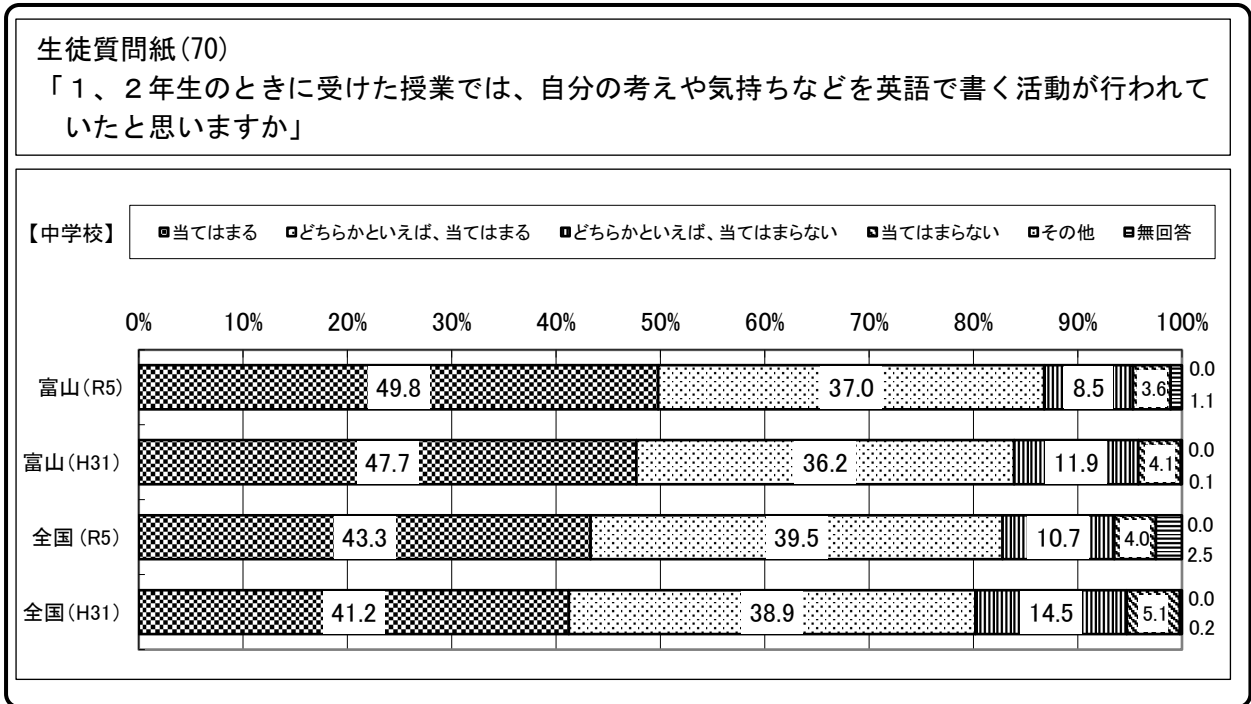
言語活動を行うに当たっては、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考え等を話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切である。

指導のポイント

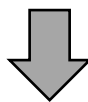
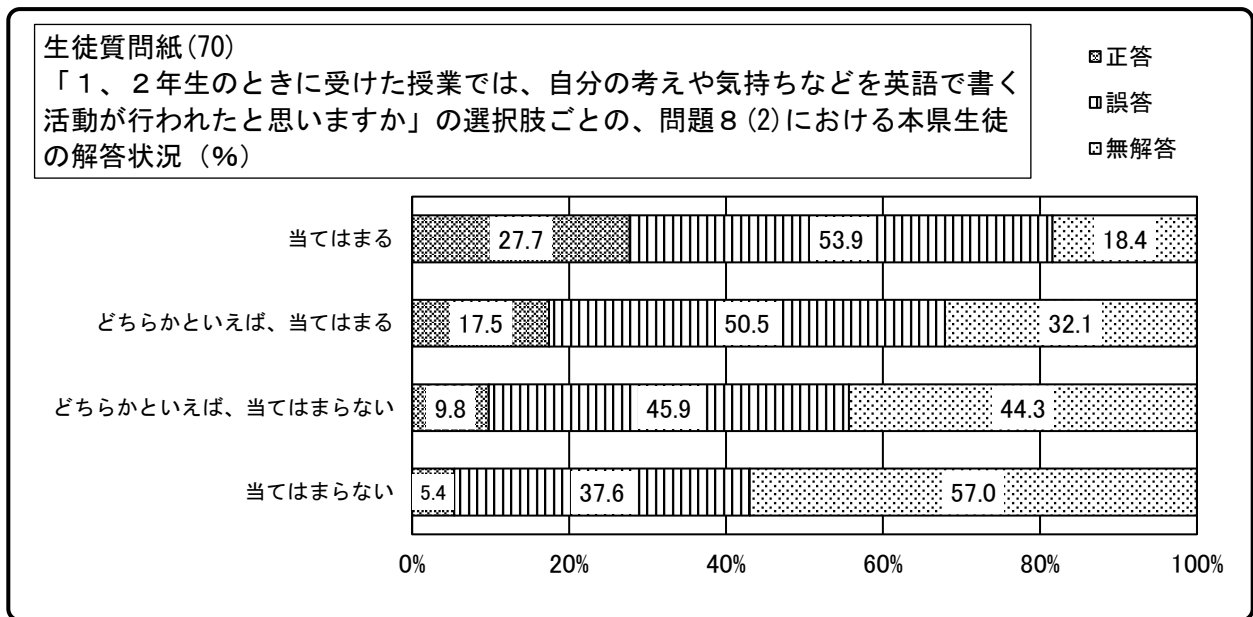
- ・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想等を、スピーチの形式や、新聞やホームページ等への投稿文の形式で書く活動を取り入れる。
- ・自分の考えを話したり書いたりする際には、なぜそのように考えたのかという理由を考えさせたり、生徒の発話に対して教師が理由を尋ねたりするといった取組が効果的である。
- ・書いた英文を推敲する際には、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切な内容になっているか、正確に書くことができているかを指導する必要がある。内容や表現を改善していく上で、書いた英文に対して教師がフィードバックを与えたり、他の生徒からコメントをもらったりすることも大切である。

(参考)

問題8(2)に関わる生徒質問紙(70)における本県生徒の結果は、次のようになった。



また、生徒質問紙(70)の結果と問題8(2)の正答率をクロス集計における本県生徒の結果は、次のようになった。



生徒質問紙(70)に肯定的に答えた生徒の方が、問題8(2)を正答している割合が高く、無解答率も低い。このことから、**自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要だと考えられる。**

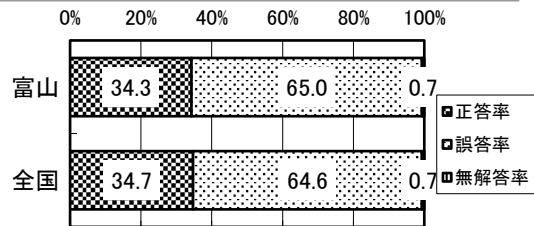
(3) 問題番号7(2) <正答率が低く、その正答率が全国よりも低い問題>

学習指導要領における領域・内容：読むことイ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

- 正答率は34.3%で、全国平均より0.4ポイント低く、全問題中4番目に正答率が低い。
- 無解答率は0.7%（全国0.7%）と低い。
- 誤答については、情報の不足や偏り、内容の具体性のバランス等を踏まえ、英文全体の主題と各段落の内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があることによるものと考えられる。



7

次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(2) しおりさんが書いた英文の概要（文章全体の大まかな内容）として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

正答 1

(注) creative: 創造的な
not only ~, but also ...: ~だけでなく、...も
puppet: 人形 workshop: ワークショップ
connect: ~をつなぐ while: ~する間

学習指導上の留意点

○ 説明文を読んで、概要を捉えることができるようにする

説明文を読んで、概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要である。

言語活動を行うに当たっては、語と語の関連や代名詞、接続表現等を手掛かりにしながら、段落内の情報の関係を正確に把握することが大切である。また、各段落の主な内容を関係付けていくことにより、文章全体の大まかな内容を捉えることも求められる。各段落の主な内容が過不足なく含まれているか、情報に偏りがいないか、一部の情報だけが詳細に述べられているなどバランスを欠いていないかといった視点で確認することが大切である。

指導のポイント

- 学校生活を紹介している短い文章等を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動を取り入れる。
- まとまりのある文章を読みながら、段落内の情報と情報、更に段落と段落との関係を図示する活動を取り入れる。
- 個々の詳細な情報にとらわれることなく大切な情報を判断するために、接続詞等に注目して情報間の関係を把握しながら読み進めるように促し、初めはペアやグループ活動として、生徒同士で理解したことを共有しながら読むように取り組む場を設定する。既成の図を埋めるだけではなく、最終的には生徒自身が読んだ文章の構成や情報の関係を図に表すことができるようになることを目指す。